

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	看護師等学校養成所報告管理運用事業	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～	担当課室	看護課	課長：岩澤和子			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-2 医療需要に見合った医療従事者を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	保健師助産師看護師法施行令第14条	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	インターネットを利用した看護師等養成所運営報告システム及び看護師等学校養成所入学状況並びに卒業生就業状況調査システムの運用経費である。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県、地方厚生局及び厚生労働本省において、データの活用及び養成所に対する指導監督を行うものである。また、インターネットを利用していることから、学校養成所の情報を公開するものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算		12	10	15	15
		補正予算					
		繰越し等					
		計		12	10	15	15
		執行額		12	10		
	執行率(%)		100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	報告事業活用養成所数	成果実績	か所	1,677	1,696	1,689	-
		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	報告事業活用養成所数	活動実績 (当初見込み)	か所	1,677	1,696 (1,696)	1,689 (1,689)	- (-)
単位当たりコスト	5,921(円/カ所)	算出根拠	1カ所当たり報告経費				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	運用管理関連経費	8	8				
	ソフトウェア関連経費	7	7				
	計	15	15				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師助産師看護師法施行令により指定学校養成所の設置者は、報告する義務がある。 ・保健師助産師看護師法施行令により国が行う業務と規定されている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札によりコストの削減に努めている。 ・費目・使途については必要最低限の経費のみの予算計上としている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・国が実施している報告を利用する上で、実効性の高い手段と考えられる。 ・成果目標は適正であり、保健師助産師看護師法施行令により報告を義務付けられており、目標を達成している。 ・活動実績は見込みと同数である。 ・看護師等学校養成所の入学状況及び卒業状況を把握し、看護行政上の基礎資料として活用している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	保健師助産師看護師法施行令により報告が義務付けられているものであり、全ての養成所が利用しているシステムとなっており目標の達成度は100%となっている。今後も執行状況等を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていきたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	看護師等学校養成所報告管理運用事業については、インターネットを利用した看護師等養成所運営報告システム等の運用を目的とするものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	引き続き効率的な執行に努めていきたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0846

厚生労働省
10百万円



【補助】

A. (独)福祉医療機構
10百万円

〔看護師等学校養成所報告管理システム
を常時正常な状態で稼働させ適切な運
用、情報の集計及び管理〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(独)福祉医療機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	システム運用支援業務等	6			
人件費	給料等	4			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)福祉医療機構	看護師等学校養成所報告管理システムを常時正常な状態で稼働させ適切な運用、情報の集計及び管理	10		